| 学校番号 | T0106 |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文 A | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 3 年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代文 A」　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

表現や展開を的確に読み取る。
文章の主題を理解する。
語句、文体、修辞法などの理解を深める。
上記をとおして自分で表現することも学習する。
多様な小説、評論文を読み、人間や社会、文化についての認識を深める。

2　学習の到達目標

多くの現代の文章を読み、言語力、文章読解力を高め、感性を豊かにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 | | | 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | | | 記述の確認及び分析（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 前期 | みどりのゆび | 適切な語句の使い方を理解する。<br>他者との関係について熟考する。 | ○ | | | ○ | ○ | a：:言語、文章に対する関心を深め、自ら積極的にその向上を図ろうとしているか。<br>d:文章を読み取ることで筆者の意見や心情を的確に理解できているかどうか。<br>e:伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けているか。 | ・行動の観察<br>・提出物<br>・小テスト<br>・定期考査 |
| | ナイン | 登場人物の心情を読み取る。<br>豊かな表現方法を学ぶ。 | | | | ○ | ○ | | |
| | ミロのヴィーナス | 論理的な文章を読解する。<br>構成、展開を理解する。 | | | | ○ | ○ | | |
| 後期 | 思考の肺活量 | 論理的な文章の読解する。<br>構成、展開を理解する。 | | | | ○ | ○ | a:言語文化に関心を持っているか。<br>d:意見や心情を的確に理解しているか。<br>e:題材、テーマ、構成を理解しているか。 | ・行動の観察<br>・提出物<br>・小テスト<br>・定期考査 |
| | 蝿・清兵衛と瓢箪 | 人間の奥深さ、豊かさを理解し、小説の読解力を高める。<br>段落ごとの感想文を書く。 | ○ | | | ○ | ○ | | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。